

市民局指定管理者審査選定委員会議事概要

- 1 日 時 平成30年10月10日（水） 午前9時30分～午前11時30分
- 2 会 場 さいたま市役所本庁舎2階 特別会議室
- 3 出席者 （委員）横山委員長、近藤委員、根岸委員、山口委員、志村委員、神田委員、金子委員
（事務局）市民生活安全課

4 諮問内容と答申結果

指定管理者候補案について諮問を受け、次のとおり答申した。

施設名称	施設数	募集方法	指定期間	申請者（◎が候補者）
さいたま市大宮ソニック市民ホール	1	非公募	平成31年4月1日 ～平成36年3月31日	◎ 公益財団法人 埼玉県産業文化センター

5 議事要旨

申請者から提出された事業計画書等に基づき、申請者によるプレゼンテーション及び各委員からの質疑等を行った後、指定管理者候補者案について審査を行った。

【質疑等】

Q 利用率はどのように算出しているか。

A 利用区分として午前、午後、夜間があり、どこか1つの区分の利用があればその部屋は利用されたとみなして算出している。

Q 区分ごとの時間の見直しや、申請から利用までの事務フローの簡素化など、利用者がより利用しやすくなるよう検討していただきたい。

A 区分ごとの時間は条例で定められているので、市所管課と協議してまいりたい。また、事務フローについては当財団内で変更できる部分もあるので検討したい。

Q 決算書類を見ると、修繕費及び委託料が大きく増加しているがどのような内訳なのか。また、今後も増加していく見込みなのか。

A ホールの舞台機構や照明等、修繕が必要な部分については収支が良くなることが見込まれる年に優先して修繕を行っているため、年により増減がある。委託料についてはホールの舞台機構のスタッフに係る賃金の影響で膨らんでいるが、今後大きな増加はない見込みである。

Q 利用者アンケートの内容を見ると、案内板に関しての指摘があるが、今後どのように対応していくのか。

A 一つの対応方法としては、新しく案内板を設置すること。もう一つはイベント等の主催者に、参加者向けのわかりやすい案内を作成していただくことが考えられる。案

内作成に関しては、イベント等の主催者に対し、記載すべき内容を伝えて作成していただいている。案内板に関しては、これまでも数か所設置してきたところではあるが、今後も利用者の声を聞いて設置を検討してまいりたい。

Q 自主事業に関して、あまり変わり映えがないと感じる。新たなコンテンツを用意する考えはあるか。

A さいたま市の観光大使を利用したいという考えの中で自主事業を行っているため、現在のコンテンツとなっている。今後は新たなコンテンツについても幅広く検討していきたい。

Q 自主事業の定員は何名か。

A 開催回によって異なるが、反響が多くあれば次の回の定員を増やすなど、フレキシブルに対応している。

Q 労務関係について、法改正に対応できるような担当者はいるか。また、職員研修や安全体制には臨時職員・契約職員も含まれているのか。

A 法改正の対応は担当部署で行うほか、社会保険労務士と顧問契約を締結し、相談しながら規則の改正等を行っている。職員研修については、契約職員や臨時職員も対象としている。また、安全体制に関しては正職員と同じように危機管理対応等を行っていただいているが、最終的な責任の所在は正職員にあるので、無理のない範囲で携わっていただいているところである。

Q 今後の予算計画に関して、修繕費がほぼ横ばいとなっている。経年とともに修繕が必要となる設備もあるかと思うが、横ばいで大丈夫か。

A 当財団で見込んでいる修繕のほかに、ソニックシティビルの各オーナー共同で修繕する部分やさいたま市の予算で修繕する部分があるため、このような積算となっている。

Q SNSを利用した情報発信についてはどのような状況か。

A Twitterのフォロワー数は約300人という状況。また、ホームページは年間アクセス数が100万件程になってきており、SNSも含めてトータルで広報活動を行ってまいりたい。

Q Wi-Fi環境の整備を検討しているか。

A これまで検討した経緯はあるが、設置には至っていない。どうしても利用したいという場合には、市民ホール内や大ホールと連携して利用できる疑似Wi-Fi環境を整備することは可能である。

Q 事業計画書に県警OBの非常勤職員というワードがよく出ているが、採用枠がある

のか。

A お見込みのとおりで、常に1名は雇用している状況にある。今後も継続するかについて議論の余地がないこともないが、現状は催事の事前の危険防止や事案発生時の対応など、有効に機能しているため継続する意向である。

Q 先ほど話の出ていた職員研修は、県警OBの非常勤職員に対しても行われているのか。

A ほかの職員とは異なったスキルに関する研修を行うこともある。

Q 職員体制に関して、職員数に関しては非常勤職員も含んだ数なのか。

A お見込みのとおり。

Q 人員配置や職員研修・教育については、非常勤職員を含めて書かれているという認識でよろしいか。

A お見込みのとおり。

【結果】

市民局指定管理者審査選定委員会において、さいたま市大宮ソニック市民ホールの指定管理者候補者案を審査した結果、公益財団法人埼玉県産業文化センターは954点となり、最低制限基準である60%（756点）を超えていた。

また、公益財団法人埼玉県産業文化センターは、現指定管理者であることから、実績評価点31.5点を加え、合計985.5点となった。

以上の結果から、公益財団法人埼玉県産業文化センターを指定管理者候補者案として答申することを決定した。

<採点結果>

公益財団法人埼玉県産業文化センター（候補者案）

1, 260点満点中954点（最低制限基準60%を超える75.7%）

実績加算点 4.5点×7人=31.5点 合計985.5点

以上